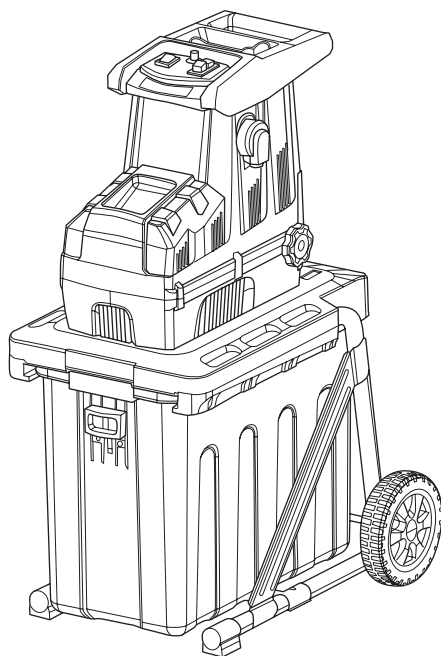


## 取扱説明書 ガーデンシュレツダ GS-2020

☐ 二重絶縁



このたびは、リョービガーデンシュレツダをお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

## もくじ

	ページ
安全上のご注意	1
二重絶縁について	6
騒音について	6
ガーデンシュレツダを安全に	7
お使いいただくために	
警告表示について	9
梱包明細	10
各部の名称	11
仕様	12
用途	12
組立	13
ご使用前の準備	15
作業する場所の整理	
漏電しゃ断器設置のおすすめ	
延長コードを使う場合	
ご使用前の点検	15
電源を確かめます	
電源スイッチが切れていることを確かめます	
シュレツダボックスが固定されていることを確かめます	
電源コンセントを確かめます	
スイッチの扱い方	17
電源スイッチ / 正逆切換スイッチ	
ブレーカーボタンについて	18
ポリ袋の取付け	18
ギヤ刃の隙間調節	19
粉碎作業	20
粉碎くずの捨て方	22
過負荷保護機能(ブレーカー)について	23
各部取付けネジの点検	25
使用後の手入れ	25
作業後の保管	25
修理について	25
故障かなと思ったら	26
保証書	裏表紙

# 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## ■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。














誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## ■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。				禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。				必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。				感電注意	回転部注意	

## 警告

### 作業場の環境について



必ず守る

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



禁止

- 子供を近づけないでください。**  
・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。  
・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。



水ぬれ禁止

- 作業場の周囲状況も考慮してください。**  
・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。



必ず守る

- ・ 作業場は十分に明るくしてください。



禁止

- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



### 電気に関する安全事項



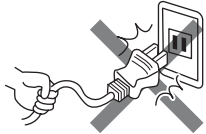
感電注意

- 感電に注意してください。**  
・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



禁止

- コードを乱暴に扱わないでください。**  
・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。  
・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



必ず守る

- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**  
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



必ず守る

**不意な始動は避けてください。**

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。



必ず守る

**油断しないで十分注意して作業を行なってください。**

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



禁止

**きちんとした服装で作業してください。**

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。



必ず守る

- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。

- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



禁止

**無理な姿勢で作業をしないでください。**

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



必ず守る

**保護めがねを使用してください。**

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。
- また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



必ず守る

**防音保護具を着用してください。**

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。



必ず守る

**無理して使用しないでください。**

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

個人的な警告事項

## 警告



禁止

作業に合った電動工具を使用してください。

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。



必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。



必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。



必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。



必ず守る

損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



よく読む

- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



必ず守る

- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告

個人的な警告事項



必ず守る

異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。  
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。



必ず守る

加工するものをしっかりと固定してください。

- ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

工具の使用と手入れ



電源プラグを抜く

次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



必ず守る

電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。



よく読む

- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



点検・確認

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

## 警告

修理とメンテナンス



禁止

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。



分解禁止

電動工具の修理は、専門家に依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。



必ず守る

- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。

## 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。



## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。


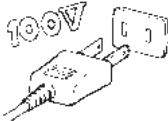







この取扱説明書は、大切に保管してください。

# ガーデンシュレッダを安全に

## ガーデンシュレッダご使用に際して

●先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、ガーデンシュレッダをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

### ⚠ 警告

作業の前	 必ず守る	使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧(100V)で使用してください。 ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。	
	 必ず守る	本機を使用するときは、平らで安定した場所に置いてください。 ・不安定な状態で使用すると、故障やけがの原因になります。	
	 必ず守る	始動する前にシュレッダ内にスパナなど工具や部品の置き忘れがないか確認してください。 ・故障、重大な事故の原因になります。	
安全作業のため	 水ぬれ禁止	雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。 ・感電のおそれがあります。	
	 必ず守る	不安定な姿勢で使用しないでください。 ・けがの原因になります。	
	 禁止	投入口や排出口に手を入れたり、顔を近づけたり、直接のぞかないでください。 ・粉砕片などが飛び出して、けがをするおそれがあります。	
	 禁止	ギヤ刃が回転しているときおよび電源プラグがさし込んであるときは、絶対に本体カバーを開けないでください。 ・けがの原因になります。	
	 禁止	はさみなどの工具、石、鉄、プラスチック、骨、布、生き物など樹木以外の物を投入しないでください。また、絶対に手などは入れないでください。 ・けが、故障、破損などの原因になります。	



# お使いいただくために

## ⚠ 警告

安全作業のため



禁止

作業中は、作業員以外の人や子供、動物などを本機の半径 3m 以内に近づけないでください。

・ けがの原因になります。



禁止

木炭や竹炭などの導電性があるものは投入しないでください。

・ 粉砕片がモーター内に侵入するとショートして、故障の原因になります。



必ず守る

粉砕する材料の中に、異物が含まれないように注意してください。

・ 金属、岩石、ピン、缶などの異物が入ると故障したり、飛散した異物でけがをします。



必ず守る

使用の際は、保護メガネ、手袋を着用し、枝木をしっかり保持してから投入してください。投入後は、粉砕を始めたらずに枝木を放してください。

・ 枝木が暴れてけがをします。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。



必ず守る

誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

安全作業のため



必ず守る

使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 感電のおそれがあります。



必ず守る

目、肌の露出部を保護してください。

・ 切りくずや樹液などの飛散により、目や肌が傷つく場合があります。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

# 警告表示について

## ■警告・注意ラベル

- ・本機に次の警告・注意ラベルが貼られています。よく理解したうえで作業をしてください。

### (取扱い)

- ・ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ・ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じラベルを貼ってください。

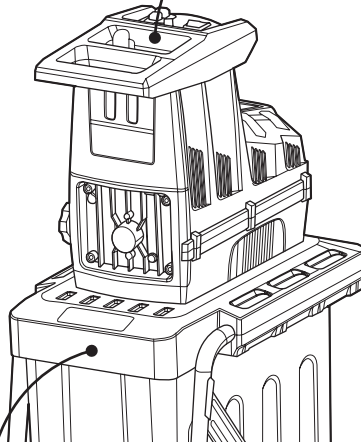
### 注意ラベル



樹木以外の物や導電性の物を投入しないでください。破損及びケガをする恐れがあります。また、絶対に手を入れしないでください。



最大粉碎枝径  
**30mm**



### 警告ラベル

**警告** お客様の安全のため、次の事をお守りください。

6924381



ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。



雨中や、湿った、またはぬれた場所では使用しないでください。



作業時は、必ず保護めがねを着用してください。



使用しない時や清掃などのメンテナンスを行なう時及び本体カバーを開ける前には、必ず本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



作業時は、必ず手袋を着用してください。



はさみなどの工具、石、鉄、プラスチック、布、骨、生き物など樹木以外の物、木炭や竹炭など導電性の物を投入しないでください。また、絶対に手を入れしないでください。

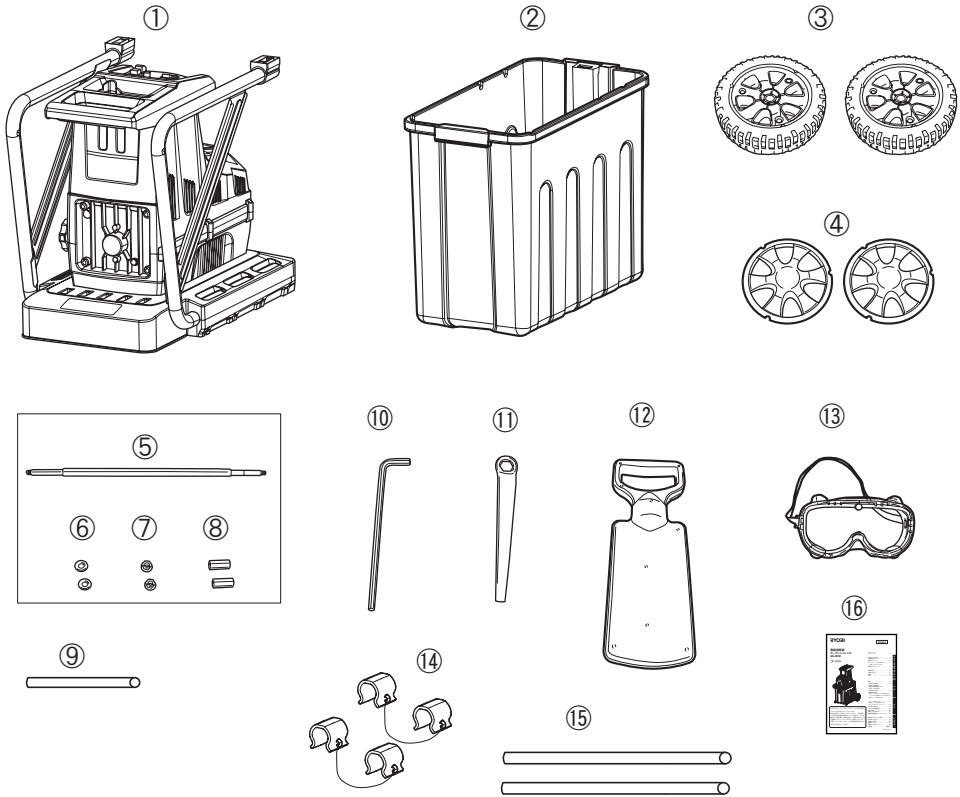


作業中は、作業者以外の人や子供、動物などを本機の半径3m以内に近づけないでください。

**注意** 本体カバーの開閉時には、次の事をお守りください。

本体カバーを固定する際は、ボルトをしっかりと最後まで締付けてください。締付けが十分でない場合、安全装置が作動し、電源が入らない構造となっています。

# 梱包明細



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

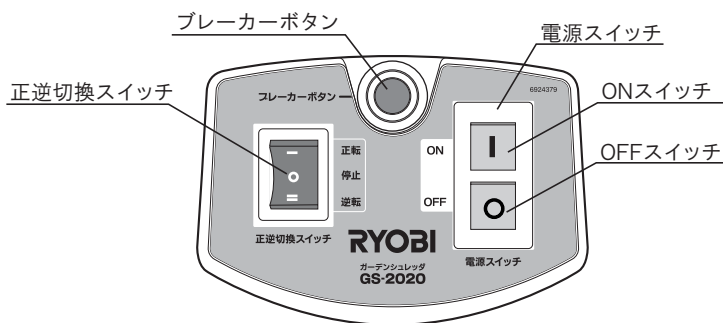
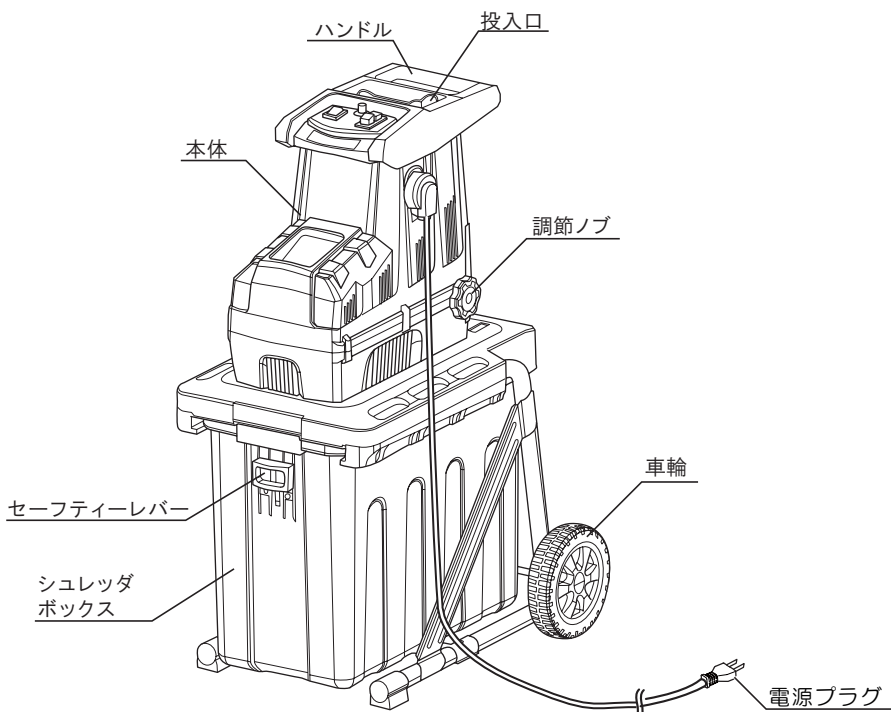
使い方

保守と点検

No.	名称	数量	No.	名称	数量
①	本体（シューター）	1	⑨	丸棒	1
②	シュレツダボックス	1	⑩	六角棒レンチ 5mm	1
③	車輪	2	⑪	メガネレンチ 13mm	1
④	車輪カバー	2	⑫	押し込み棒	1
⑤	シャフト（車輪取付用）	1	⑬	保護めがね	1
⑥	ワッシャ（車輪取付用）	2	⑭	クリップ（ポリ袋取付用）2個組	2
⑦	ナット（車輪取付用）	2	⑮	パイプ（ポリ袋取付用）	2
⑧	スリーブ（車輪取付用）	2	⑯	取扱説明書（本書）	1

# 主要機能・名称

## ■各部の名称



# 仕様・用途

## ■仕様

- ・電源…………… 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流…………… 15A
- ・消費電力…………… 1,450W
- ・無負荷回転数…………… 60min<sup>-1</sup>
- ・最大粉碎枝径…………… 30mm<sup>※</sup>
- ・シュレッダボックス容量…………… 60ℓ
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ）…………… 630×460×925mm
- ・コード長さ…………… 5m
- ・質量…………… 19.8kg
- ・絶縁方式…………… 二重絶縁

※ 最大粉碎枝径は、枝木の種類や刃物の切れ味などにより変わる場合があります。

## ■用途

- ・庭のお手入れ後の、枝木の粉碎。

※ 葉っぱのみの粉碎はできません。また、葉っぱの多い枝木および短い枝木は粉碎しない場合があります。

# 準備

## 警告



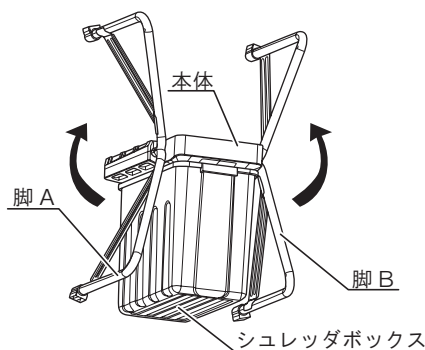
必ず守る

- ・ 組立前に電源スイッチが切れていること、電源プラグが電源コンセントから抜いてあることを確認してください。

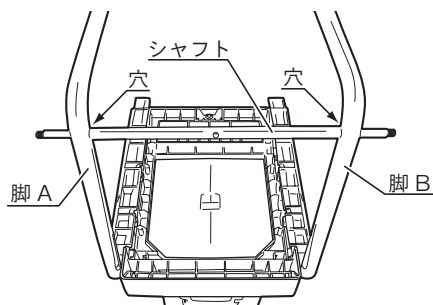
組立前に梱包明細（10 ページ）に記載してある部品が全て揃っているか確認してください。

## ■組立

- 1 本体を逆さにし、シュレツダボックスに入れて図のように置きます。  
脚 A、B を矢印方向に持上げます。



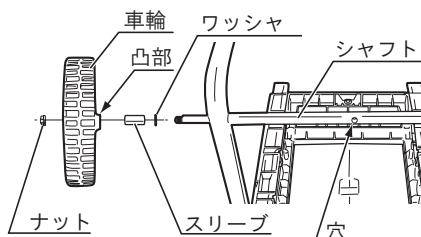
- 2 シャフトを脚 A、B の穴にさし込みます。



- 3 車輪を取付けます。

シャフトにワッシャ、スリーブ、車輪、ナットの順に取付けます。

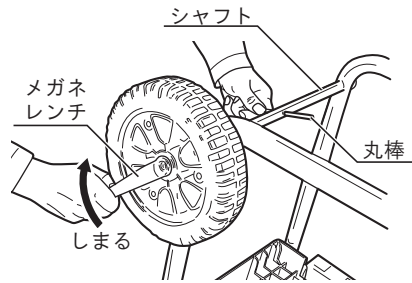
※車輪は凸部を脚側にしてください。



シャフトの穴に丸棒をさし込み、シャフトを固定して、同梱のメガネレンチでナットを締付けます。



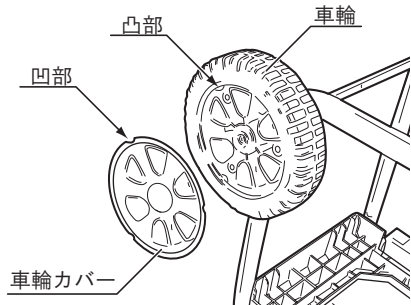
ナットの締付けがゆるいと車輪の脱落や本体のガタ付きの原因になります。また、本体がガタ付くとシュレッダボックスが入りにくくなります。



#### 4 車輪カバーを取付けます。

車輪の凸部と車輪カバーの凹部を合わせて取付けます。

#### 5 反対側の車輪、車輪カバーも同必要領で取付けてください。

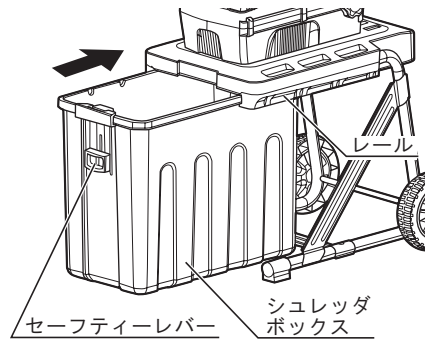


#### 6 逆さに置いた本体をもとに戻します。

#### 7 シュレッダボックスを取付けます。

セーフティーレバーを手前にして、本体のレールにさし込み奥まで入れてください。(セーフティーレバーは解除(解除)位置の状態)

※ ポリ袋を取付けて使用する場合は、18 ページ『■ポリ袋の取付け』を参照ください。

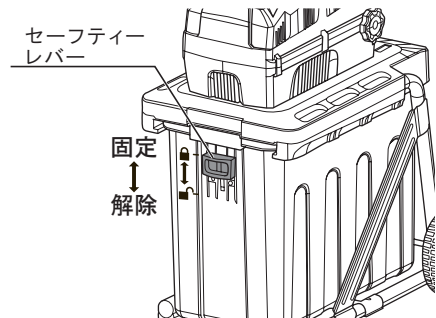


#### 8 シュレッダボックスを固定します。

セーフティーレバーを押上げて本体に固定します。



シュレッダボックスを本体に固定していないと電源スイッチが入らない構造(安全装置)になっています。



# 準 備

## ■ ご使用前の準備

### ● 作業する場所の整理

- ・庭木のまわりを整理し、足場を良くしてください。

### ● 漏電しや断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しや断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、漏電しや断器の設置をおすすめします。

### ● 延長コードを使う場合

#### 警 告



必ず守る

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。  
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ	最大の長さ
1.25mm <sup>2</sup>	10m
2.0mm <sup>2</sup>	20m

## ■ ご使用前の点検

#### 警 告



点検・確認

- ・ご使用前に次のことを確認してください。
  - ①～③項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に電源スイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

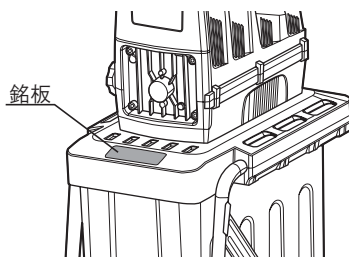


## 1 電源を確かめます。

- 必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本体が破損するおそれがあります。

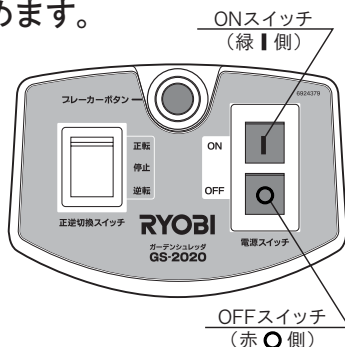


発電機の定格電流によっては、始動しない、または所定の能力が得られない場合があります。その場合は、定格電流の大きな発電機をご使用ください。



## 2 電源スイッチが切れていることを確かめます。

- 電源スイッチが入っているのを知らずに電源プラグを電源コンセントにさし込むと不意に本体が起動し、思わぬ事故のもとになります。電源スイッチは電源コードを抜くと自動的に切れますが安全のため、電源スイッチが切れていることを必ず確認してください。
- 電源スイッチのONスイッチ（緑■）側を押すと入り、OFFスイッチ（赤○）側を押すと切れます。

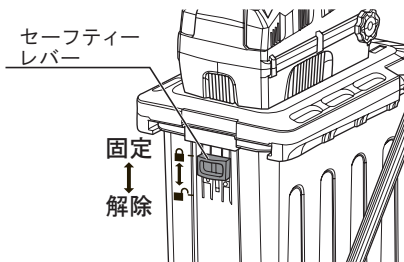


## 3 シュレツダボックスが固定されていることを確かめます。

- セーフティーレバーが固定（🔒）位置にあり、シュレツダボックスが本体に固定されていることを確認してください。

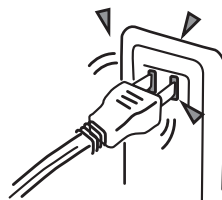


シュレツダボックスを本体に固定していないと電源スイッチが入らない構造（安全装置）になっています。



## 4 電源コンセントを確かめます。

- 電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。



# 使い方

## ■スイッチの扱い方

### ⚠ 警告

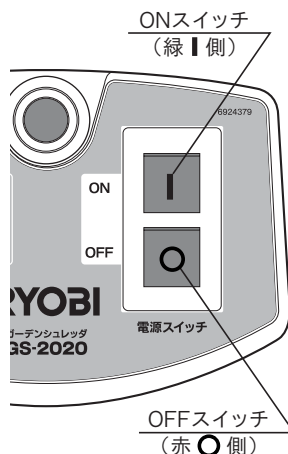


必ず守る

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

### ●電源スイッチ

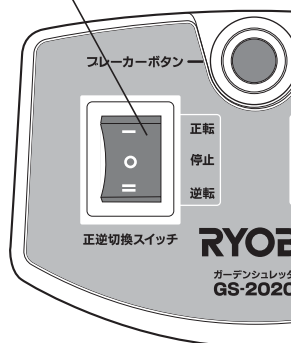
- ・ 電源スイッチはプッシュ式です。  
電源スイッチのONスイッチ（緑■）側を押すと入り、OFFスイッチ（赤○）側を押すと切れます。
- ・ 電源スイッチには過負荷保護機能が組込まれており、運転中、モーターに負荷がかかり過ぎ、電圧が降下するとスイッチが自動で切れます（OFF状態）。この場合、必ず電源プラグを抜き、過負荷の原因（粉碎くずの詰まりなど）を取除いた後、電源スイッチのONスイッチ（緑■）側を押して作業を再開してください。



### ●正逆切換スイッチ

- ・ 正逆切換スイッチでギヤ刃の回転方向の切換えができます。  
『正転』… 粉碎作業ができます。  
『逆転』… ギヤ刃が逆転します。枝が噛込んで止まったときに押してギヤ刃を逆転させてください。  
『停止』… 停止位置にすると電源スイッチのONスイッチ（緑■）側を押しても運転しません。

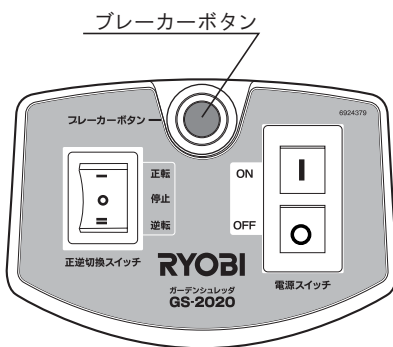
正逆切換スイッチ



正逆切換スイッチを操作するときは、電源スイッチを切ってから行なってください。

## ■ブレーカーボタンについて

- ・ 運転中、モーターに負荷がかかり過ぎると過負荷保護機能（ブレーカー）が働き電源が切れます。また、ブレーカーが作動すると安全のため、電源スイッチも自動的に切れます。作業を再開する場合は、30秒以上経過後にブレーカーボタンを押してください。



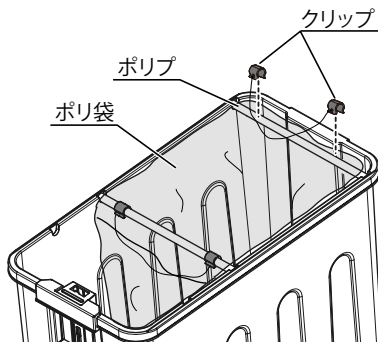
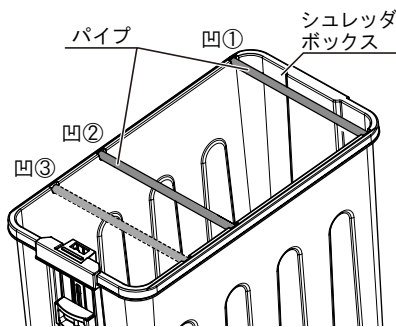
モーターの温度が下がらないと、ブレーカーボタンを押しても作業を再開することができません。

## ■ポリ袋の取付け

- ・ シュレッダボックスに市販のポリ袋を取付けると、粉砕片の廃棄が容易になります。ポリ袋は市販品または地域指定のゴミ袋を使用してください。ポリ袋のサイズは幅550mm以上、深さはシュレッダボックスに取付けたときに底に届くものを使用してください。

### （取付け）

1. シュレッダボックスの両サイドに3ヶ所凹部があります。ポリ袋のサイズに合わせて、パイプ2本を凹①と凹②または凹①と凹③に取付けてください。
2. ポリ袋をシュレッダボックス内で広げ、ポリ袋の口をクリップでパイプに固定します。



袋内に粉砕片を溜め過ぎるとポリ袋が破れるおそれがあります。

- ※ 自治体によっては、ゴミ袋を指定している場合があります。その場合は、指定のゴミ袋をご使用ください。指定のゴミ袋によっては、取付けることができないものがあります。

# 使い方

## ■ギヤ刃の隙間調節

- ・出荷時はギヤ刃と受金具に隙間をあけています。枝木の粉碎状況に合わせて調節を行なってください。隙間の調節は、本体側面の調節ノブで行ないます。調節は本機を運転しながら行なってください。

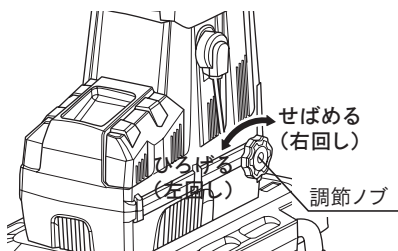
### 右回し…隙間が狭くなります。

調節ノブを回すと同時にギヤ刃と受金具の隙間が狭くなります。受金具の摩耗が進んだとき、切れ味が悪くなったり、粉碎されず繋がって出てくるときに、右に少しづつ回して隙間を狭くしてください。

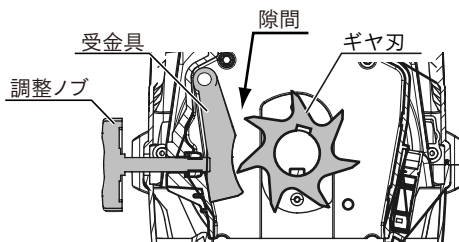
### 左回し…隙間がひろがります。

枝木が太い場合や枝木を噛込んで運転が頻繁に止まるときは隙間をひろげてください。

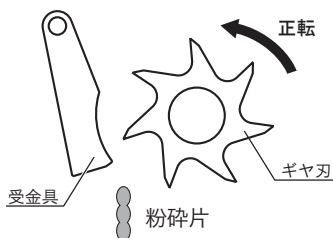
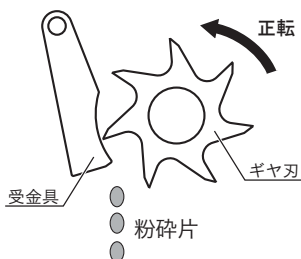
※ 調節ノブを左に回しすぎると、調節ノブが外れます。締め直してください。



10mm 位の枝を投入しながら粉碎される状態まで調節ノブを右に回してください。



受金具とギヤ刃の隙間が大きいと粉碎片が繋がって出てきます。調節ノブを右に回して隙間を狭くしてください。



## 警告



必ず守る

調節ノブを右に回しすぎると、ギヤ刃で受金具を削り、受金具を破損する場合があります。破損した受金具が飛び出し、けがをするおそれがありますので右に回しすぎないでください。

※ 受け金具とギヤ刃が接触すると異音が生じます。

## ■ 粉砕作業

### ⚠ 警告



禁止

- ・ 雨中では使用しないでください。感電のおそれがあります。
- ・ 本機を使用するときは、平らで安定した場所に置いてください。不安定な状態で使用すると、故障やけがの原因になります。
- ・ 不安定な姿勢で使用しないでください。けがの原因になります。
- ・ 投入口や排出口に手を入れたり、顔を近づけたり、直接のぞかないでください。粉砕片などでけがをするおそれがあります。
- ・ はさみなどの工具、石、鉄、プラスチック、骨、布、生き物など樹木以外の物を投入しないでください。また、手などは絶対に入れないでください。けがの原因になります。
- ・ 木炭や竹炭などの導電性があるものは投入しないでください。粉砕片がモーター内に侵入するとショートして故障の原因になります。
- ・ 使用の際は、保護めがね、手袋を着用し、枝木をしっかりと保持してから投入してください。投入後は、粉砕を始めたら枝木を放してください。枝木が暴れてけがをするおそれがあります。



必ず守る

### ⚠ 注意



必ず守る

- ・ 目や肌の露出部を保護してください。切りくずや樹液などの飛散により、目や肌が傷つく場合があります。



- ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、次のことを再確認してください。
  - ・ 保護めがねと手袋の着用。
  - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用。
  - ・ シュレツダボックスが本体に固定されていること。  
電源スイッチが入らない機構（安全装置）になっています。
  - ・ 本体内部に異物が無いこと。
  - ・ 作業場の3m以内に人・子供・動物がいないこと。
- ・ 本機は樹木専用です。繊維質のつる草や草花は入れないでください。ギヤ刃にからまり正常に作動しない場合があります。
- ・ 建築資材や角材、太い木を割った薪などは入れないでください。乾燥した硬木や、非常に硬い木は粉砕できないことがあります。
- ・ 竹など繊維質の強い枝は粉砕できない場合があります。

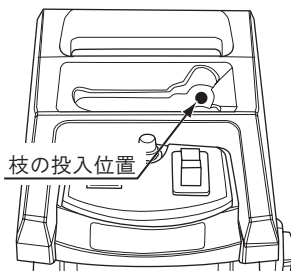
# 使い方

## 1 電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

同じコンセントで同時に他の電気製品を使用するとご家庭のブレーカーが落ちる可能性があります。本製品を使用する際は、単独で使用してください。

## 2 電源を入れます。

正逆切換スイッチの『正転』側を押し、電源スイッチの ON スイッチ（緑 ■）側を押し、電源を入れます。

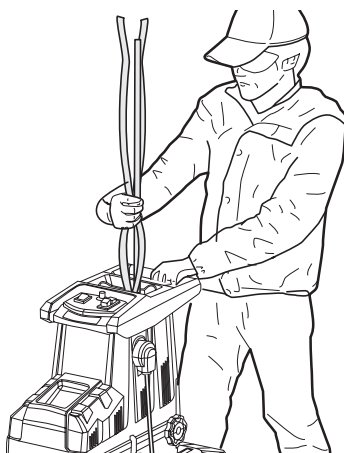


## 3 粉碎作業を始めます。

電源を入れるとギヤ刃が回り続けます。回転が安定したことを確認してから、枝木をしっかりとつかんでゆっくり投入口「右上図の位置」から投入してください。（枝木の太い方から投入しても粉碎はしますが、枝木がバタついたり、時間がかかるなど効率よい粉碎ができません。）

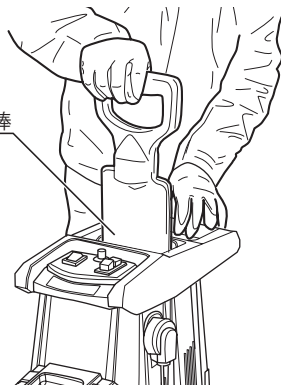


- ・ 粉碎可能な枝径は最大 30mm ですが、樹木の種類によっては、これより細い枝径までしか粉碎できないこともあります。
- ・ 枝木の投入後、粉碎を始めたらずを放してください。
- ・ 突然モーターの回転が落ちたときは、押し込み過ぎ（入れ過ぎ）です。一度枝を引抜き、再度、モーターの回転が上がるのを確認してから枝木を投入してください。



枝木が短くなった場合や、小さくなくずを粉碎する場合は同梱の押し込み棒を使用してください。

押し込み棒



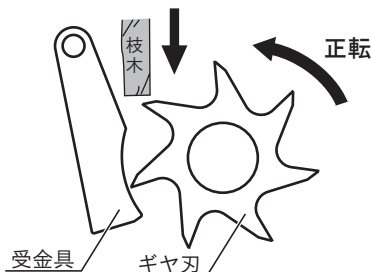
## 4 作業を終了します。

ギヤ刃の回転を止めるときは、電源スイッチの OFF スイッチ（赤 ○）側を押し、モーターを停止させてください。

## ●スムーズに粉碎作業をするために

- ・ 枝木を太さ別に仕分けして作業すると、隙間調節を頻繁に行なう必要がなくなります。
- ・ 太い枝木は細い方から投入すると粉碎が容易にできます。
- ・ 短い枝は長い枝といっしょに、筒状にまとめて投入してください。
- ・ 水分を多く含んだ枝木は、適度に乾燥させてから投入してください。
- ・ 枝木を投入し、粉碎を始めると、枝木が大きく暴れます。けがなどをしないように注意してください。
- ・ 一度に大量に投入すると、つまりの原因になります。枝木の投入の際は、無理な押し込みはしないでください。

### 粉碎する仕組み



- ・ 無理な枝木の押し込みや粉碎をした場合は、過負荷保護機能（ブレーカー）が働き、モーターが停止します。本機の再操作については、23～24ページの『■過負荷保護機能（ブレーカー）について』を参考ください。
- ・ 粉碎能力以上の枝木や硬すぎる木の場合、過負荷保護機能が再々働くことがあります。その場合はその枝木の粉碎はお止めください。



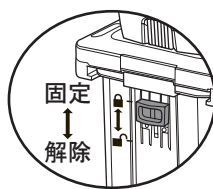
## ■粉碎くずの捨て方

### 警告

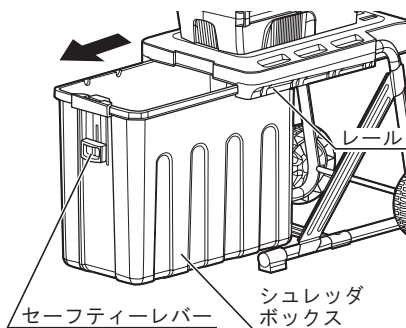


電源プラグ  
を抜く

- ・ 粉碎くずを捨てる前に必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがの原因になります。



- ・ セーフティーレバーを押下げて固定を解除します。シュレッダボックスを矢印方向に引抜いて取出し、粉碎くずを捨ててください。
- ・ 粉碎くずを捨てた後、シュレッダボックスを奥までさし込み、セーフティーレバーを押上げて本体に固定してください。





# 使い方

## ■過負荷保護機能（ブレーカー）について

次のような場合、モーターがロックして過負荷保護機能が作動し、電源が切れます。

- ・ 枝木を一度に押し込み過ぎた（入れ過ぎた）とき
- ・ 粉碎くずが本体内部に詰まったとき
- ・ 堅い枝を勢いよく投入口から挿入したとき
- ・ 粉碎能力を超えた枝（約 31 mm以上）を無理に挿入したとき など

※過負荷保護機能は、以下の2通りの切れ方があります。

- ①「電源スイッチ内の過負荷保護機能が作動し、電源スイッチのみが切れる。」  
→ 細いコードを何本もつないで使用した時、同じコンセントで同時に他の電気製品を使用した場合など大きな負荷がかかると発生します。（始動電流、使用時の電圧低下に作動することがあります。）
- ②「ブレーカーが作動すると共に、自動的に電源スイッチが切れる。」  
→ 能力以上の太い枝や固い枝を投入し、ギヤ刃がロックすると発生します。（使用時の過電流に作動することがあります。）

### 「再始動要領 1」

作業中にギヤ刃、排出口に粉碎くずが多量に付着し詰まった場合や粉碎能力を超えた枝（約 31mm 以上）をさし込んだとき、枝木を一度に押し込み過ぎた（入れ過ぎた）ときなどに、モーターの過電流保護のため、過負荷保護機能が作動して起動できない状態になります。次の作業を行なって過負荷の原因を取除いてください。

1. 電源スイッチが切れていることを確認ください。
2. ギヤ刃と受金具の隙間を広げます。  
調節ノブを反時計方向に回してください。（19 ページ参照）
3. ブレーカーボタンを押してください。（②の場合のみ）
4. ギヤ刃を逆転させます。  
正逆切換スイッチの『逆転』側を押し、電源スイッチの ON スイッチ（緑 ■）側を押し続け、詰まっているくずをほぐします。



ON スイッチを 15 秒以上押し続けしないでください。  
故障の原因になります。

5. 正逆切換スイッチの『正転』側を押し、電源スイッチを入れて、投入口内部のくずをシュレツダボックスに排出します。
6. 投入口内部のくずが無くなったらギヤ刃を適度な隙間に調節します。



正逆切換スイッチを操作するときは、電源スイッチを切ってから行なってください。



## 「再始動要領 2」

再始動要領 1 の方法で過負荷の原因が取除けない場合は、下記の手順で本体カバーを開いて本体内部の粉碎くずを取除いてください。

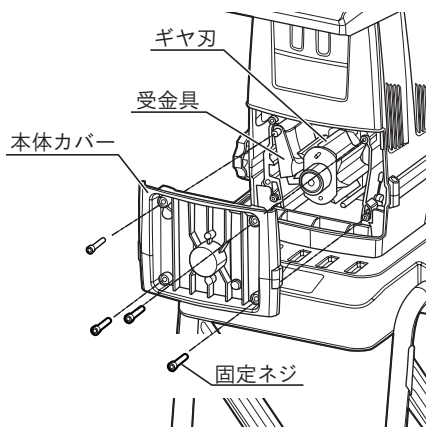
### 警告



必ず守る

- ・ 本体カバーを開ける場合は電源スイッチが切れていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 粉碎くずを取除く場合は、手袋・保護めがねを着用してください。

1. 電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 本体カバーの4ヶ所の固定ネジを同梱の六角棒レンチでゆるめ、本体カバーを取外します。
3. 本体内部の粉碎くずなどを完全に取除いてください。
4. 本体カバーを取付け、4ヶ所の固定ネジを六角棒レンチでしっかり締付けてください。
5. プレーカーボタンを押してください。  
(②の場合のみ)
6. 電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
7. 電源スイッチのONスイッチ（緑■）側を押し、モーターが回転することを確認してください。



- ・ 粉碎くずを取除く際、ギヤ刃が外れる場合がありますので落とさないように注意してください。
- ・ 固定ネジ（4本）を確実に締付けていないと電源スイッチが入らない安全構造になっています。

# 保守と点検

## ⚠ 警告



電源プラグ  
を抜く

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

## ■各部取付けネジの点検

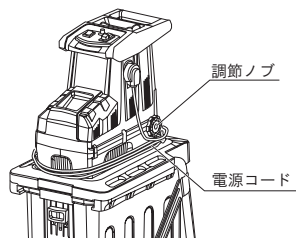
- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

## ■使用後の手入れ

- ・本体内部の粉碎くずを完全に取除いてください。
- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

## ■作業後の保管

- ・電源コードを本体に巻付けて保管する場合は、図のように調節ノブの下側を通してから巻付けてください。
- ・雨や高温高湿をさけた場所に保管してください。
- ・お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。



## ■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。  
その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

# 故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	対策	参照ページ
モーターが動かない。	電源プラグが電源コンセントから抜けている。	電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。	—
	電源コードが損傷している。	直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	—
	シュレツダボックスをセーフティーレバーで固定していない（安全装置が働いている）または奥までさし込んでいない。	シュレツダボックスを奥までさし込み、セーフティーレバーを押上げてを本体に固定してください。	14
	正逆切換スイッチが『停止』になっている。	正逆切換スイッチの『正転』または『逆転』側を押してください。	17
	過負荷保護機能（ブレーカー）が働いている。	電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、30秒以上程待ってからブレーカーボタンを押します。電源プラグを電源コンセントにさし込んで、電源スイッチを入れてください。	18
	電圧降下により電源スイッチが切れる。	正逆切換スイッチを『逆転』にし、電源スイッチのONスイッチ（緑■）側を押して過負荷の原因を取除いてください。	23
	本体カバーの固定ネジが緩んでいるまたは外れている。	固定ネジを確実に締付けてください。	24
モーターが動かなくなった。（作業時）	無理な押込み、木屑の詰まりなどで過負荷保護機能が（ブレーカー）が働いた。	23 ~ 24	
ギヤ刃に粉碎片が付く	故障ではありません	使用前に投入口からシリコンスプレーなどをギヤ刃に吹付けると付きにくくなります。	—

# RYOBI

持込修理

## ガーデンシュレツダ 保証書

リョービガーデンシュレツダをお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話 ( )	
お買い上げ日		保証期間 (お買い上げ日より)
平成	年 月 日	1 年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	
	印	

レシート貼付

リョービ販売株式会社

〒468-8512  
愛知県名古屋市中白区久方1-145-1  
TEL.(052) 806 - 5111

リョービ株式会社

### 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。  
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。  
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。  
(ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送などによる故障または損傷。  
(ハ) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。  
(ニ) 本書のご提示がない場合。  
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買い上げ年月日、販売店名を証する物(レシートなど)の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。  
(ヘ) 付属品、別販売品や消耗品類の場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only for Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

### ■修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

# RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512 愛知県名古屋市中白区久方1-145-1  
Tel. (052)806-5111 Fax. (052) 806-5141  
http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/  
ナビダイヤル 0570-666-787

